

錦江町独自の PR・物産販売



今回紫原にて行った『錦江町青空市』に来ていただいた方にアンケートをとりました。

問1 性別

男性…34% 女性…51% 不問 15%

問2 年齢

10代…2% 20代…2% 30代…13%
40代…10% 50代…23% 60代…31%
70代…11% 80代…2% 不問…6%

問3 錦江町をご存知ですか？

はい…90% いいえ…8% 不問 2%

問4 このような交流を続けてほしいですか？

はい…100% いいえ…0%

問5 今回、青空市で一番良かったのは何ですか？

しし鍋…43%、生鮮食料品…41%
菓子・団子…12%、その他…4%

問6 今後どのような農産物を希望しますか？

野菜類…29%、魚・貝類…20%、果物…16%
しいたけ…9%、加工品…9%、肥料…3%
花類…3%、その他…11%

■ 紫原自治会との経緯と見直し
紫原自治会は鹿児島市で最大の広さと多くの人が生活し、鹿児島市内の都市部ではめずらしく町内会組織が残っている場所です。毎年夏に開催される夏まつりでは紫原連合町内会（11町内会）が一同に参加し、本年度で45回目を数えるほどの組織力を持つ地域です。これまで錦江町では、他の自治体と合同のPRイベントや物産販売を行ったことはありますが、単独でのPR・物産販売は初めての試みでした。今一回行ってみて、錦江町の食材や特産品に興味がある方が多く、

猪鹿倉の無農薬米などは、早速注文が入るほどでした。今回のイベントを行ってみて購買客のニーズが少しずつが見えて来たように思えます。今後も錦江町のPRイベントを、やる気のある元気な方々を中心に続けて、錦江町の食材は『新鮮・安心・美味しい』を売り込み、錦江町を大いにPRしていきたいと思えます。また、錦江町では新しく特産品協会の設立を計画しております。やる気のある元気な方々と一緒に今後もPR・物産販売を行っていききたいと思えます。